

# 平成26年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績

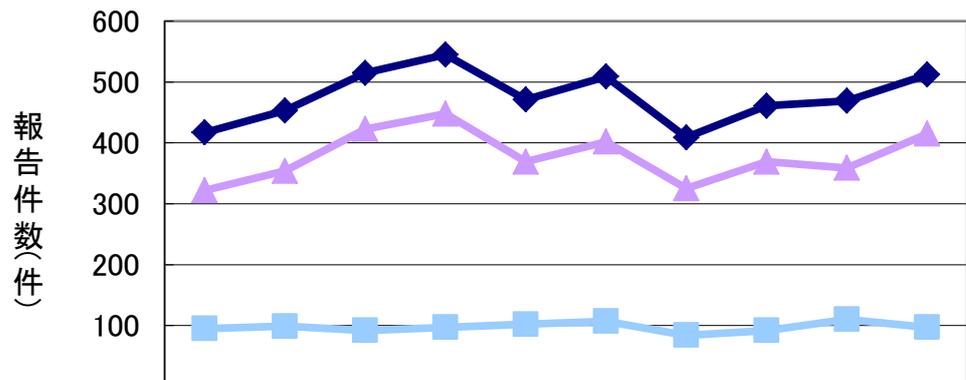
## 平成26年のトピックス

- 1 新たに報告されたHIV感染者・AIDS患者を合わせた数は512件で、過去3位の報告数となった(図-1)。
- 2 報告数の概要として、主に以下のことがあげられる(図-2、3、4)。
  - ・ 日本国籍が90.6%を占める。
  - ・ 男性が96.9%を占める。
  - ・ 同性間性的接触が72.9%を占める。
  - ・ 日本国籍男性及び同性間性的接触は、3年連続増加している。
  - ・ HIV感染者は20~30歳代に多く、AIDS患者は30~40歳代が多い。  
特に、HIV感染者の20歳代は148件で、前年より45件増加し、過去最高となった。
- 3 HIV検査件数は27,531件で、前年に比べると約5%増加した(図-6)。

★都民には、HIV/AIDSの早期発見・早期治療に結びつくよう、HIV検査を積極的に利用していただきたい。

### 1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

図-1  
HIV感染者及び  
AIDS患者報告数  
推移  
(過去10年)



報告件数(件)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
AIDS患者	95	99	92	97	102	107	84	92	110	97
HIV感染者	322	354	423	448	369	402	325	369	359	415
合計	417	453	515	545	471	509	409	461	469	512

前年と比べ、HIV感染者は56件増、AIDS患者は13件減の報告数であった。  
HIV感染者報告数は、過去3番目に多い件数であった。

ひとくち  
×E

HIV感染者：  
HIV（ヒト免疫不全ウイルス）が体内に入り、感染しているが、「発症」していない状態。

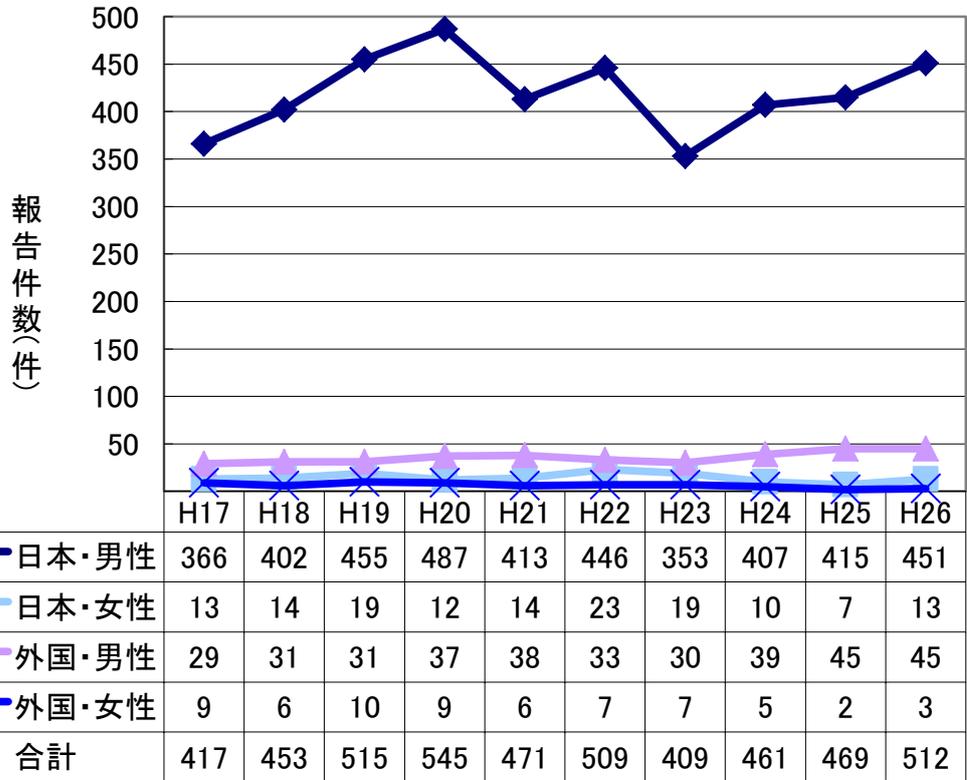
本報告は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、平成26年に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図-2  
HIV感染者及び  
AIDS患者  
国籍、性別推移  
(過去10年)

ひとくち  
メモ

AIDS患者：  
HIVにより免疫機能  
が低下し、  
「指標疾患」に  
決められた疾患  
の症状が認めら  
れた場合。  
無治療の場合、  
感染から症状が  
出るまで、数年  
から10数年かか  
るといわれている。

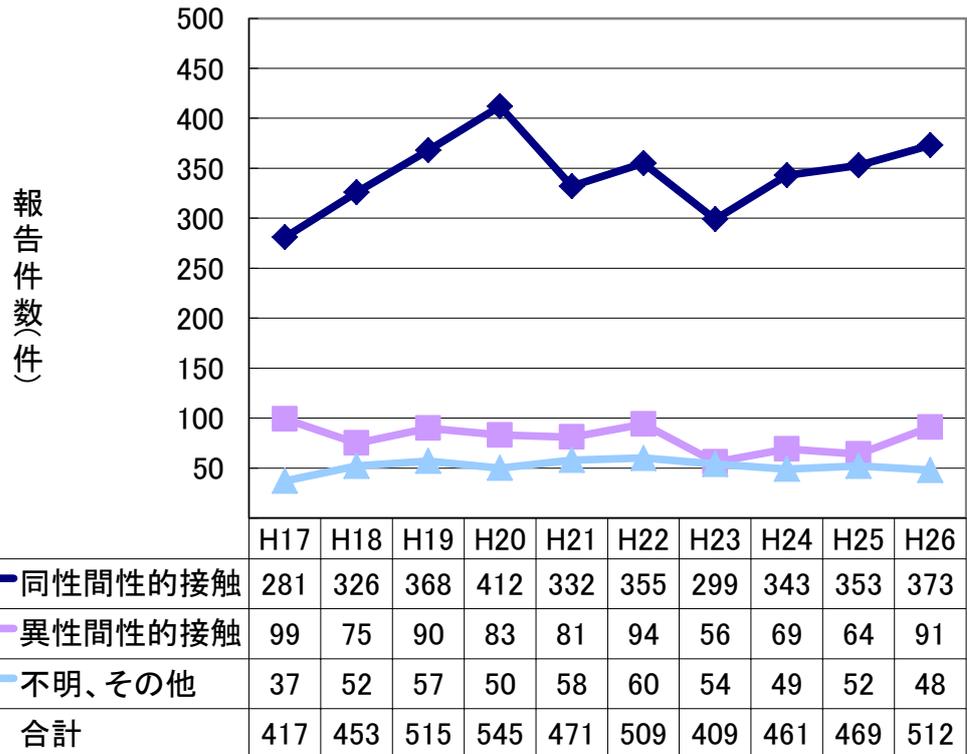


日本国籍男性の報告数は、前年に比べて36件増加し、過去3番目に多い件数であった。  
日本国籍女性・外国籍女性は、近年ほぼ横ばいで推移している。  
外国籍男性は、過去10年で最も多い件数であった（昨年と同数）。

図-3  
HIV感染者及び  
AIDS患者  
推定感染経路別  
推移  
(過去10年)

ひとくち  
メモ

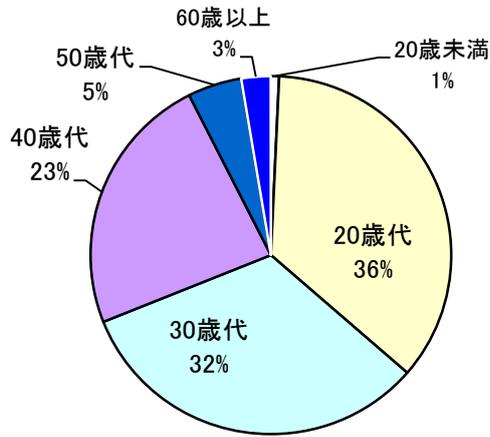
不明、その他：  
感染経路が不明  
や複数であったり、  
母子感染や  
静注薬物使用の  
可能性のある経  
路などが含まれる。



同性間性的接触による報告数は、前年に比べて20件増加し、過去2番目に多い件数であった。  
異性間性的接触による報告数は、前年に比べて27件増加した。  
静注薬物の使用が原因と疑われる感染が4件（前年は5件）報告された。

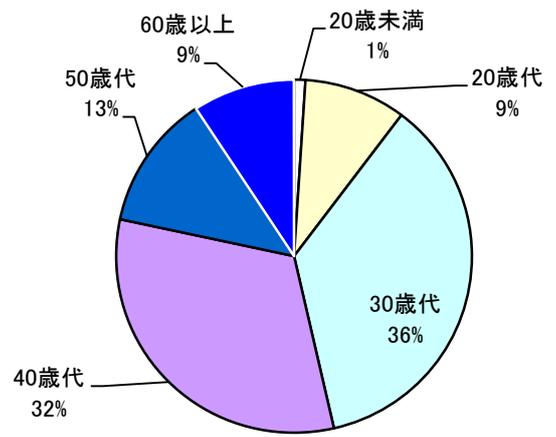
図-4  
HIV感染者及び  
AIDS患者の  
年齢別割合  
(平成26年)

(1)HIV感染者



	HIV(件)
20歳未満	3
20歳代	148
30歳代	135
40歳代	98
50歳代	20
60歳以上	11

(2)AIDS患者



	AIDS(件)
20歳未満	1
20歳代	9
30歳代	35
40歳代	31
50歳代	12
60歳以上	9

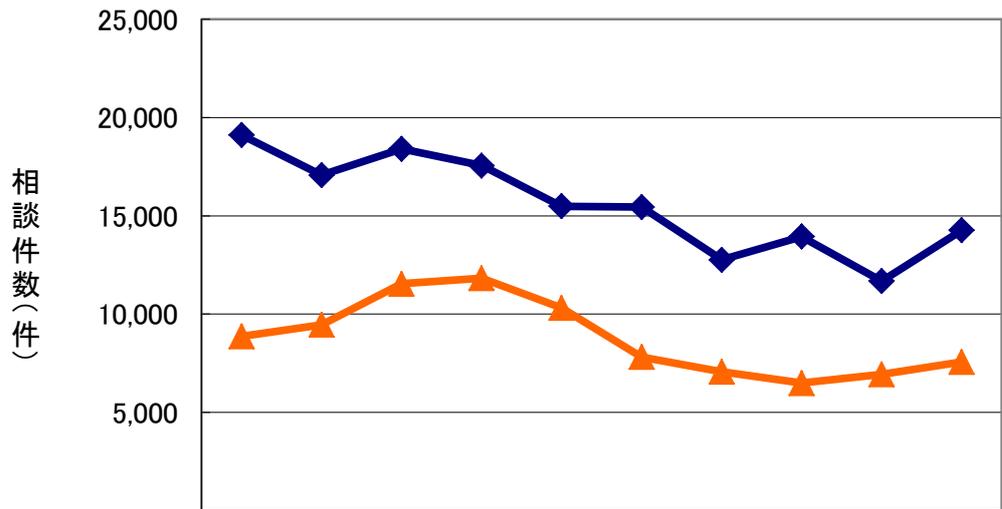
HIV感染者報告数は20～30歳代に多く、AIDS患者報告数は30～40歳代が多い。  
特に、HIV感染者の20歳代は、前年の103件より45件増加した。

2.相談・検査体制

図-5  
エイズの電話  
相談件数推移  
(過去10年)

ひとくち  
メモ

東京都HIV/エイズ電話相談：  
03-3292-9090  
平日は午前9時から午後9時まで、  
土・日・祝日は午後2時から午後5  
時までHIV/エイズ相談に応じて  
いる。  
なお、平成24年  
度までは「東京  
都エイズ電話相  
談」であつた  
が、平成25年  
度から名称を更  
変している。

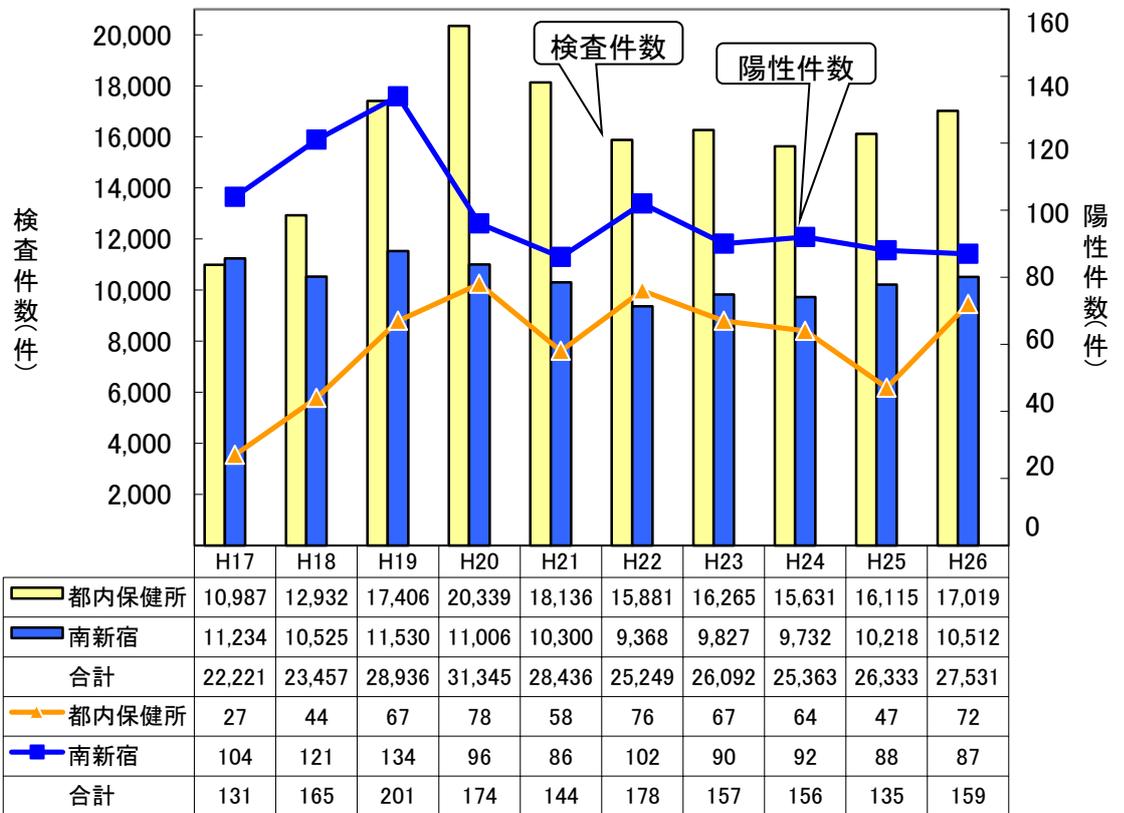


平成26年の電話相談件数は、前年よりも約17%増加した。東京都HIV/エイズ  
電話相談は約22%増加し、都内保健所は約9%増加した。

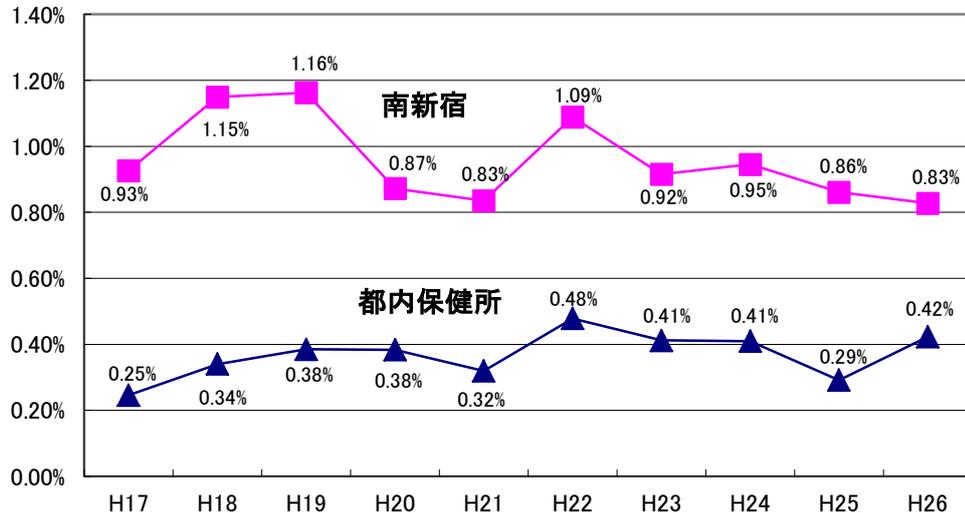
図-6  
HIV検査件数、  
陽性件数及び  
陽性率推移  
(過去10年)

ひとくち  
×E

東京都南新宿  
検査・相談室；  
新宿駅南口すぐ  
そばに位置する  
無料・匿名でHIV  
検査が受けられ  
る検査機関。  
平日午後・夜間、  
土日午後に検査  
を行っている。  
事業は、東京都  
医師会に委託し  
ている。  
平成27年4月より、  
性感染症検査を  
拡充する。



HIV検査陽性率



平成26年のHIV検査件数は27,531件で前年に比べて約5%増加した。  
都内保健所の検査件数は17,019件、南新宿検査・相談室の検査件数は  
10,512件であった。  
また、都内保健所の陽性件数は72件、南新宿検査・相談室の陽性件数は  
87件であった。陽性率は、南新宿検査・相談室は前年より低下し、都内保  
健所は前年より上昇した。

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係  
郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp